

「ベトナムのフードバリューチェーン構築に向けた投資の魅力とビジネス機会」セミナーの開催

国際協力機構（JICA）は、2020年1月14日にハノイ市、1月16日にホーチミン市にて「ベトナムのフードバリューチェーン構築に向けた省の投資の魅力とビジネス機会 ～農業分野における中小企業等海外展開支援及び今後の農業分野の協力方向性に係る情報収集・確認調査を踏まえて～」と題し、セミナーを開催致しました。

日越両国政府は「日越農業協力中長期ビジョン」（2015-2019）において、ベトナムにおけるフィードバリューチェーンの構築を目標として掲げ、官民連携による5年間の具体的な行動計画を策定しています。同ビジョンで選定されたモデル地域では、これまでに、①ゲアン省における生産性・付加価値の向上、②ラムドン省における食品加工・商品開発、③ハノイ・ホーチミン等大都市近郊における流通改善・コールドチェーン、そして④メコンデルタ地域を中心に気候変動への配慮、高度人材の育成といった取組が展開されてきました。

JICAは、同ビジョンに沿って、ハノイ近郊の安全作物栽培の普及、ゲアン省における契約農業の推進及び灌漑設備の整備、ベンチェ省における塩水遡上対策、ラムドン省の農業振興8戦略の策定支援、メコンデルタカントー大学との気候変動に適応した農水産業の共同研究及び人材育成、ベトナム全国を対象とした農業分野への本邦企業進出支援等に注力してきました。

2020年に「日越農業協力中長期ビジョン」が改訂されることを視野に入れ、JICAは、これまでの成果の振り返りとベトナムにおける農業分野の日本企業（特に中小企業）進出支援及び進出企業の実業展開上の課題の整理を行い、今後のJICAによる協力の方向性を検討することを目的として、2019年4月から「農業分野における中小企業等海外展開支援及び今後の農業分野の協力方向性に係る情報収集・確認調査」を実施しました。

本セミナーでは、日越農業協力中長期ビジョンのモデル省・市による投資優遇策の紹介、ベトナム進出日系企業によるビジネス展開の経験や教訓の紹介のほか、本調査で得られた最新のフードバリューチェーンの現状と今後の展望について発表しました。また、日越企業の代表と省政府、ベトナム農業関連法人・団体との質疑応答・意見交換が行われました。

JICAは、今後も、①農業関連インフラ整備、②先進的農業（技術・機器）の導入、③農業振興政策・戦略支援・人材育成といった柱で農業分野を総合的に支援し、ベトナム農業の生産性向上・高付加価値化に貢献していきます。

照会先：

国際協力機構（JICA）ベトナム事務所

11th Floor, Corner Stone Building, 16 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem, Hanoi, Viet Nam

Tel: (84-24) 3831 5005 (ext. 137) 担当：高木 結実